

羅臼湖歩道付替ルート案について

1. 付替ルート選定にあたっての基本的な考え方

○植生保全のため、湿原や希少な植生に影響を及ぼさないルートにする。

- ・ 羅臼湖最終展望台付近のルート付替。
- ・ 三の沼周辺の既存歩道の廃道。
- ・ 二の沼階段部分の廃道。
- ・ アヤメが原、四の沼、五の沼の木道を若干移設。

○質の高い利用環境を維持するため、羅臼湖地域の魅力を損なわないルートにする。

- ・ 二の沼木道、三の沼展望デッキ、羅臼湖最終展望台は再整備。
- ・ アヤメが原、四の沼、五の沼は既存のルートとほぼ同様。

○専門家以外でも管理ができるよう、木道等の構造物が少なくすむルートにする。

- ・ 湿原域を極力避けた付替えルートを選定。

○地域の資源として、関係者の十分な協議により検討を進める。

- ・ 羅臼湖部会において協議を行うとともに、関係者との現地踏査を実施。

○利用者が安全に登山口にアクセスできるよう歩道の入口を選定する。

- ・ カーブ付近にあった入口を直線部分に移設。

○歩道の拡幅や浸食、残雪期の道迷い防止のため、雪が吹き溜まる斜面や雪解けの遅い斜面を極力避けたルートにする。

- ・ 二の沼階段部分を付替。

○歩道の浸食防止のため、急傾斜地を極力避けたルートにする。

- ・ 平坦地、緩傾斜地を中心に付替ルートを選定。

2. 付替えルート案

添付図面のとおり。